

半 布 里

＝学校の教育目標＝
美しい心を持ち 自ら考え
たくましく 実践する子

一年間ありがとうございました

校長 堀部 千治

3 月 25 日の卒業式、26 日の修了式をもって、今年度の全ての教育活動を終えることになります。保護者並びに地域の皆様方には、数多くのご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

運動会、レインボーリング、大縄大会などの学校の様々な行事や委員会活動で、いつも全校のリーダーとして頑張り、活動してくれていた 6 年生 42 名が卒業を迎えます。これも、ご家庭の皆様の温かな励ましがあったからに他ありません。

子どもたちがやがて世に出るときにふるさとは、富加町であり、富加小学校です。そしてその根底は、安らぎのふるさとしてある家庭です。富加小学校で学んだこと、歴史のまち富加町で育ったことの誇りを胸に力強く巣立ってほしいと願っています。

今年度の教育活動の成果と課題をまとめました。次年度も子どもたち一人一人の確かな成長をめざして、教職員が一致団結して取り組んでいきますので、ご協力をお願いいたします。



平成 25 年度富加小学校教育活動の成果と評価

児童・保護者アンケート、職員の自己評価結果より			達成率		
重 点		内 容	児童	保護者	教師
わくわくする授業 よくわかる授業の創造	1	よく分かる授業	84.6%	79.5%	76.7%
	2	漢字や計算などの基本的な力	85.8%	78.3%	81.7%
	3	個に応じた指導	88.3%	77.5%	78.3%
仲間とよりよく生きるための 人間関係の醸成	1	時と場に応じたあいさつや行動	83.4%	73.2%	78.1%
	2	「よいとこみつけ」	91.8%	72.6%	78.1%
	3	楽しい学校	89.8%	89.0%	82.8%
健康で安全な 生活習慣の育成	1	安全な登下校	84.9%	82.5%	70.3%
	2	危険を回避	91.9%	77.1%	65.6%
	3	進んで運動	90.5%	84.2%	89.1%
	4	給食指導・食育	86.9%	82.9%	84.4%
図書館の積極的な利用	1	読書指導	79.1%	75.8%	76.6%
こだわり活動の取組	1	あいさつ	85.9%	78.5%	81.3%
	2	掃 除	82.6%	85.9%	78.1%
	3	歌 声	86.3%	84.8%	79.7%
生徒指導の推進	1	教育相談		84.5%	76.7%
	2	「叱ることができる」教職員集団		83.2%	87.5%
地域に開かれた学校経営	1	説明責任		82.0%	75.0%
	2	地域連携		84.1%	75.0%
	3	明るく丁寧な対応		79.9%	85.9%
	4	適切な管理		81.9%	76.6%
「絆の日」の取組	1	「絆の日」の取組	92.1%	77.5%	78.1%

評価の考察 成果○と課題▲

【重点1】わくわくする授業，よく分かる授業の創造

- 80パーセントを超える児童が，日々の授業に対し，「よく分かる」「できることやわかることがふえてきた」と回答している。保護者からも高い評価を受けている。
- ▲高評価ではあるが，全国学力状況調査では，以前の学年で学んだことを忘れてしまったり，解答しようと必死になって取り組むことなく無回答だったりすることが課題となった。
- ⇒ ・学習過程に書く時間を意図的に位置付けるほか，日記や作文を通して書く力を高める。
- ・算数科を校内研究の柱とし，教員の授業力を高めることを通して児童の力を高める。

【重点2】仲間とよりよく生きるための人間関係の醸成

- 「楽しく登校」については，児童，保護者共90パーセントに近い数値となった。
- 「よいところみつけ」については，朝の会や帰りの会を中心として日常的な取組をすることにより，児童の評価が高くなったと考えられる。
- ▲「ときと場に応じたあいさつ、行動」では，地域の型や来校者等，誰にでもあいさつできないことが課題である。
- ⇒ ・児童理解に徹し，さらに楽しい学校作りに努めると共に，互いのよさを認め合う中で，自分のよさに気付かせ，自信を持たせる。

【重点3】健康で安全な生活習慣の育成

- 「進んで運動・・・」については，児童，保護者、職員による評価が高い。
- ▲一方，「危険を回避・・・」については，児童の意識は高いが，職員，保護者共評価が低い。
- ⇒ ・運動や食育の指導に加え，危険予知トレーニング等，安全に関わる指導を充実させる。
- ・職員の危機管理意識を高めるため，職員会議や研修の充実を図る。

【重点4】学校図書館の積極的な利用

- 職員，児童共80％に近い達成率である。保護者の意識としては「進んで本を借りていない・・・」という評価になっている。
- ▲児童アンケート結果では，高学年になるにつれ図書を借りる冊数が少なくなっている。
- ⇒ ・高学年になるにつれ，図書を借りる冊数が少なくなるのは事実だが，発達段階に見合う読書指導だけでなく，資料室としての図書館整備を進めていかなければならない。

【重点5】こだわり活動の取組

- あいさつの状況がよくなっている。
- ▲「掃除、歌声」に関わる職員の評価が低くなった。月の目標として位置付けて取り組んできたが，更に高い姿を目差しての数値であると捉える。
- ⇒ ・「こだわり活動」として，児童一人一人が意識を継続できるよう，全校集会や昼の放送等の機会を活用し，学校として取り組む姿を高める。

【重点6】信頼と愛情を基盤にして共感的理解に徹し、自己指導力を育てる生徒指導の推進

- 4日間ずつ年2回行う教育相談や，毎週行う職員打ち合わせ会での生徒指導の交流などを通し，気になる児童の姿については適宜ケース会議を開き早期対応に努めた。
- ⇒ ・様々な機会と場を通して，児童理解を深め，その子の自信につながる指導援助を工夫する。

【重点7】地域に開かれた学校経営

○6月7日の事故以後、幾度となく研修を重ね、職員の危機管理意識を高め、非常時の対応についても職員の考えと町教育委員会のご指導により、万が一の事故の時に活用できるマニュアルを作ることができた。

▲来校者や電話の対応について、前年度より低くなったことが課題である。

⇒ ・職員の危機管理意識を高めるための研修（職員会議を含め）を計画的に実施する。

・来校者や保護者への対応について、不信感を抱かれないように心がける。

【重点8】「絆の日」の取組

○児童にとって、「青空の時間の遊びや運動」と共に、最も高かった評価項目である。意図的、計画的に取り組んできたことが児童の意識として「自分の命を大切にすることや、仲間を大切にしようとする気持ち」につながっている。

⇒ ・この学習を第6学年の総合的な学習で集約させるよう、年間指導計画を見直す。

保護者のご意見・ご要望と学校の取組

【学習・生活全般に関して】

1 児童への指導援助に関して

- ・先生のおかげで学校に行けるようになりました。
- ・宿題がスムーズに進みません。自主的に進めることができればいいのですが、おこらないとやらないので毎日困っています。授業ではわかりにくいところが多いようです。
- ・宿題のことなのですが、私が毎回怒ってしまいます。やる気にさせなくちゃとは思っているのですが、少しアドバイスしていただけると助かります。

⇒ 当たり前のことですが、「学校へ行くことが楽しい」と誰もが口にするように、一人一人を大切にし個に応じた指導を継続していきます。

2 登下校に関して

- ・分団長として、登下校のときの安全性や大勢の低学年の子たちへの接し方など負担に思っているようです。
- ・分団で集合したときや地域の人に出会ったときに、あいさつがないのが気になります。

⇒ 登下校の安全に関わる指導と、通学班の仲間関係をよりよくする指導を継続します。

【学校全体・行事などに関して】

- ・担任の先生と親子共々、よいコミュニケーションがとれ安心して学校へ行かせられる有り難さを感じています。何の問題もなく過ごせていることは、事前に先生が小さい問題をしっかりと見届け取り上げてくれるおかげだと思っています。感謝感謝です。

⇒ 学習を通した学びだけでなく、集団生活をするることによる人と人とのよりよい関係作りを進めることが、「安心」につながります。保護者の皆様が安心して子どもを通学させられるよう、一層、児童理解を深め、発達段階に応じた指導に努めます。

保護者の皆様からの貴重なご意見をありがとうございました。今後とも、本校の教育活動へのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

学校関係者評価より

1 教育活動の取組状況について

- ・学校活動の様子を評議員会で見せていただきました。学校職員の方々は勿論、地域の方々や訪問した施設の方々との交流の中でも育てられていると実感しました。何らかの方法で、保護者や地域の方々にも見ていただけたら地域の教育力がより高まるのではと思いました。
- ・先生方の指導方法など、より高いものをという日々の努力、子どもたちの学ぼうとする姿勢は、よく伝わってきます。その中で、分からない（理解できない）まま、次の段階へという子も少なからずいると思います。どこで、何につまずいているかを明確にし、指導していくことは大変なことと思いますが、これからも丁寧な授業をお願いします。
- ・学校として、年間を通して授業はもちろん、各種行事（地域とのふれあいを含む）にも積極的に取り組んでおり、内容も充実している。
- ・児童保護者に対して、学校経営の方針に沿って成果を上げるために実践されている。

2 児童の姿、活動の様子について

- ・あいさつや掃除など、一人一人が意識している様子がうかがえますが、学校内でできていても、一歩外へ出るとできていないような気がします。（照れなどがあり）どんなときにも、自然に振る舞えることができこそ本物と思うので、子どもたちに求めてばかりでなく私たち大人が見せていくことも大切なのでは、・・・。
- ・児童の多くが各項目の達成率が高く、一つ一つの項目に対しても、目標に向かって頑張ろうとする努力が見られる。また、積極的に取り組もうとする様子がうかがえる。
- ・多くの子どもたちが、学校へくることが楽しいと思っている様子が見られ、学校地域での、どんな活動に対しても意欲的に取り組んでいる姿が見られる。

3 重点項目の達成状況について

- ・各項目とも昨年度の成果、反省を踏まえた中での、細かな取組がなされており、達成率は向上している。
- ・「絆の日」において、児童が自分の命を大切にすることや、仲間を大切にしようとする気持ちにつながることは大変よいと思う。
- ・保護者や児童の場合、評価の基準が個々によりまちまちであるように思います。一つ一つの達成率にとらわれる必要はないと思います。保護者や児童については、各々の言葉によるアンケートに考えが表れ、把握しやすいのではと思います。
- ・この評価の数字はひとつの目安にしか過ぎないので、足りない部分については、どうしたらもっと上を目指していけるのかを考えていくことが大切だと思います。職員同士、先生と児童、先生と保護者のつながりをより深め、お互い理解し合える学校になってほしいです。



長縄跳び(1月)



6年生ありがとうの会(2月)